

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 松原市立三宅小学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒580-0046

大阪府松原市三宅中2丁目14番21号

E-mail miyake@matsubara.e-kokoro.ed.jp

Website <http://www.e-kokoro.ed.jp/matsubara/miyake/index.html>

児童生徒数 男子 158 名 女子 141 名 合計 299 名

児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

## 3. 活動内容

### (1) 活動の概要

当校は、「一人ひとりを生かす教育の創造」を教育目標として、ESDを学力の向上はもちろん、心の教育と人権が尊重される学校づくり、様々な取り組みを通して、地域と協働した学校、安心安全の学校づくりと捉え、ESDの実践を通して、表現力やコミュニケーションを行う力の育成を目標とした。

具体的には、地域の伝統文化、国際理解、食育、人権を柱に、①米作りに係わる活動、②ならクエストに係わる学習を行った。

### ① 米づくりに係わる活動

5年生では、本校の学習農園において土地改良区・農協の支援を受け、農業体験を行っている。稲作体験だけでなく、その後、しめ縄作り、餅つき等を行い、地域の伝統文化に触れる取り組みも行っている。

5月に、三宅町土地改良区や農協から来ていただいて5年生が米づくり説明会を行い、6月に田植えを行った。

阪南大学の留学生が参加してくれ米作りを通じた国際交流も行うことができた。子どもたちが中国や韓国からの留学生と英語を通じたコミュニケーションができたことも大きかったが、米作りや和食の文化について留学生から高い評価をしてもらい、日本の農業や食文化の良さを再確認することができた。

稲刈りでは、慣れない手つきの子どもたちも、地域の方から鎌の使い方を教えてもらい、途中から上手に稲刈りができるようになった。その後、刈ったお米の精米や袋詰めは土地改良区でもしてもらい、コメタくんのキャラクターのシールを貼ったきれいな袋に入った「田ンポーズ米」ができあがったのである。

松原第四中学校で行われた「生き生き交流フェスタ」や「食」をテーマにした地産地消のフェア「まつばらマルシェ」においても、学習農園で収穫したもち米を販売した。

11月には、「収穫を祝う会」を行い、田植えや稲刈りに来た中国からの阪南大学留学生にも参加してもらい交流を行うことができた。

12月には、地域の土地改良区など学習農園推進協議会の方に来ていただき、5年生にしめ縄・リースづくりを教えてもらった。昔はどこのお家でも玄関などに飾っていたしめ縄。子どもたちは地域の方に教わりながら、一生懸命作った。

1月には、屯倉神社で行われるとんど祭りに参加し、もちつきをするなど地域の方々との交流を行った。6月から始まる一年間の米作りを通じて、地域など様々な方々と出会い、子どもたちが成長していける取組となった。

### ② 6年ならクエストに係わる学習

6年生においては、地域に住む外国人の方や校区にある府立松原高校の留学生との交流活動を行っている。平成19年度から文部科学省の委嘱を受け、英語活動の先進的なカリキュラム作りを進めたが、1年から6年生まで、英語活動と国際理解学習とのコラボレーションを進め、ALTによる英語活動の体験学習と、国際理解学習の体験・聞き取り学習を行っている。そしてこれらの学習・体験の集約の場として、6年生が遠足で行く古都奈良において外国観光者とコミュニケーション活動を行うプロジェクト型学習である「ならクエスト」という取組みを実施してきた。



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

年度末に、それぞれの学年で総括を行い、それらをもとに、年度当初に、5年生・6年生担当者を中心に本年度の計画を立案する。特に、地域の三宅町土地改良区の担当者と指導内容の工夫・改善を行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

地域とのつながりを重視した取組になるため、地域担当者と綿密な打ち合わせを行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校教育アンケート結果によると、「学校は特色ある教育活動を行っている」という項目において、85%の保護者に肯定的意見を頂いている。しかし、11%の方からは「わからない」と答えを頂いている。今後は、より多くの理解を得るためにも積極的に活動していきたいと考える。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

阪南大学の留学生と交流を行い、田植え、稲刈り、収穫を祝う会などで日本文化を発信するとともに、他国の文化にも触れることが出来るように考えている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

三宅町土地改良区や地域の方々とのつながりをつくることができ、地域の中で育っているという自覚と、地域に貢献しているという自負を、子どもたちが持つようになった。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

三宅町土地改良区や地域の方々とのつながりをもとに、米作りを続けていく、また、外国語によるコミュニケーション力をつけるためにもならくエストを行う。  
安心安全な学校に取り組みインターナショナルセーフスクールの推進を行う。